



ご進級・ご入園おめでとうございます。このところ幼稚園の桜は春休みに満開になり、始園式には散ってしまっていたのですが、今年は数年ぶりに子どもたちに咲き誇る姿を見せられるかもしれない♡と期待しております。3月は急に夏日が来たり、みぞれが降ったりおかしな気候でしたね。そりゃあ桜も戸惑いますよ。ただでさえ日本の桜は年を取りすぎて『春の風物詩』の危機が叫ばれているのですから。一番馴染みのある“ソメイヨシノ”の寿命は60年から80年とされていて、樹齢50年を超えると『老木』の域に入り花の付きが悪くなるそうです。ソメイヨシノは江戸時代後期から明治初期に品種改良により誕生し、普及しました。明治1年が155年前なので、桜の名所にある木たちはかなりのご高齢なのでしょう。幼稚園の桜は何歳なのでしょう。園は創立35年でその頃植えられた桜がどのくらいのサイズで植樹されたかわかりませんが、そろそろ老木の仲間入りでしょうか。桜さん！もうしばらく頑張っ枝にしがみついてね。

さて、いよいよ新生活の始まりです。進級した子どもたちも保護者の皆様も、新しい担任や慣れない友達にドキドキしているかもしれませんね。年少さんはこれから保護者と離れて園で過ごすことを、まだ想像できていないかもしれません。これからの人生、4月にはこの一連の流れを何度経験していくのでしょうか。少なくとも中学3年までに12回、その先も学生だけでなく社会人になっても毎年少なからず環境が変わっていくものです。淋しい別れと新しい出会いに何も感じない人はそういないでしょう。悲しかったり、不安だったりどこかでマイナスの感情も抱くものですがそれはずっと続くものではなく、必ず『喜び』の感情が訪れます。この喜びこそ生きる活力だと思います。不安の後の喜びは経験によってしか生み出せません。どうか、子どもたちが“喜び”を見出せるまで温かく見守ってください。決して先にマイナスな要素を取り除かないでくださいね。そ

れがあるから喜びが大きいことを、私たち大人は知っているはず。子育ては本当に長いものです。目の前のことばかりに目を向けず長いスパンで『どういう人になって欲しいか』を想像しながら関わっていきましょう。迷ったときは保育のプロ、私たちに聞いてくださいね。園児は家に帰って園での出来事を上手く伝えられません。気になることがあれば、お気軽にお尋ねください。コミュニケーションはとればとるほど話しくなるものです。子どもたちにとっても、良い見本となりますよ。

皆様これから1年、2年、3年!!たくさんお話ししましょうね。宜しくお願いします。



4月の第1週、職員は色々な研修を受けて新学期に備えます。毎年行うのは応急救護（AEDやエピペンの使用法等）です。今年度はこの他に『色彩知育』、『絵画の技法』、『子どもの介助法』を学びました。研修の他に新学年の結束を高めるために“レクレーション”を行っています。レクレーションでは自分の殻を破るために、大人が童心に帰って本気で遊べるような内容を考えるのですが、最近『青空』の子どもたちも加わり総勢80名近くが参加できるものに。学年チーム対抗戦で、内容は子ども向け・大人向け・共同で行うものなどいくつかあります。いつもは子どもが主役で大人は応援することが多いのですが、この日ははしゃぐ先生たちの姿に、子どもたちも応援に熱が入ります。クイズ形式のものは子どもの方が得意なので、普段と立場が逆転するような場面も見られます。大人の“弱み”を見せることで子どもの違う表情を発見できるのも楽しみのひとつです。このコーナーでは、日々子どもたちとのかかわりで見つけた素敵な姿や、思わずフフッと笑いたくなるようなほっこりエピソードなどをお伝えしていきます。 園長： 讃井 理香